

町議会6月定例会が6月11日から20日まで開かれます。ご意見・ご要望などお寄せください。

部内資料 たかひこ通信 No. 37  
2014/5/24 〒399-8601 長野県北安曇郡池田町大字池田3089-4  
薄井孝彦 Tel・Fax 0261-62-5093  
mail: peacea@peach.plala.or.jp  
http://web-ariakesan.com/

いかにして、池田町を「花とハーブの里」にするか。  
市民との協働による「花と香りのまちづくり」を進める兵庫県「小野市」の取り組みを見学して

池田町のホームページでは、「北アルプス展望の里・花とハーブの里 池田町」とうたっています。

町のハーブセンターが平成4年3月に竣工してから22年が経過しました。町が「花とハーブの里」に取り組んでいることは多くの方々に知られてきています。

町にはハーブセンターの他に陸郷の夢農場広津のカミツレ研究所があり、町の大きな資源だと思えます。しかし、町民にハーブが定着し、名実ともに「ハーブの里」になっているか問うてみるとまだまだ不十分に思われます。いかにして、池田町を「花とハーブの里」にするかを考え、インターネットで探してみました。兵庫県小野市の取り組みが参考になると思い、5月15日に

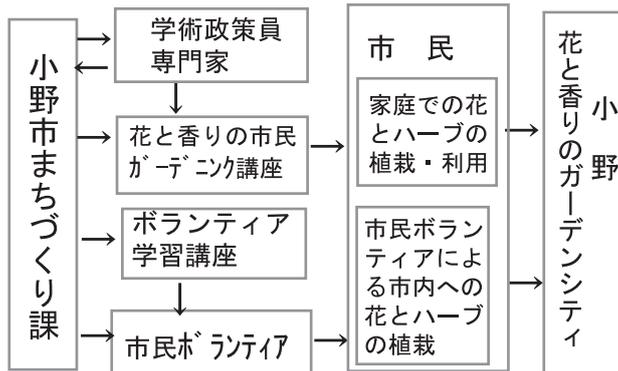
## ◎ 小野市の取り組み

兵庫県小野市は姫路市から25Km離れ、人口5万人弱で、“そろばん”の産地として有名です。黒田官兵衛が活躍した地でもあります。

小野市はハーブを中心に「花と香りのまちづくり」を平成14年頃から追及してきました。市は学術政策員と相談しながら次の2つの戦略を立て実施していました。(下図参照)

①「花と香りのまち」にするため市内の道路、交差点、公園、保育園、学校、公共施設に花とハーブの苗を育て植栽する。育苗と植栽を市民ボランティアの協力で行う。ボランティア登録…百名余、年育苗実績…14万市はボランティア活動の維持・拡大のため3コ-

スのボランティア学習講座を行う。  
植栽する花はブルーとピンク系を基本とし、ローズマリーやバラなどの芳香ハーブを広める。  
②各家庭でも花やハーブを栽培し、ハーブの楽しみ方(ティー、料理、香り等)を学ぶ「市民ガーデニング講座」を行う。



### 【感想】

池田町も専門家の知恵を借り、町に合ったハーブを研究することが必要と思いました。その上立って、町民ボランティア組織を立ち上げ町内に花とハーブを植栽し、ハーブの啓発を継続し、家庭でもハーブの栽培・利用を楽しめるようにな

ば、「花とハーブの里 池田町」になると思いました。

## ◎ 神戸布引ハーブ園

神戸布引ハーブ園は新幹線・新神戸駅近くの山頂にあり、ロープウエーで行く日本でも有数のハーブ園です。

○屋外のハーブミュージアムでは目的別にハーブが植栽されています。(ティー用、サラダ用、料理用、香り用等)ここで行われているハーブガイドツアーに参加しました。ハーブの特徴・栽培・利用法などの説明(40分程度)は分かりやすく勉強になりました。(左写真参照)

○ハーブティーの作り方、飲み比べ等の実演が行われており、良い取り組みだと思えました。これらの点は池田町のハーブセンターでも参考になるかと思えました。



写真：神戸布引ハーブセンターのハーブガイドツアー

「町・町民団体のおもてなしの連携により」「第7回いけだまち北アルプス展望ウォーク」大成功

5月17日、「第7回いけだまち北アルプス展望ウォーク」が開かれガイドマスター会の一員として参加しました。当日は県内外から250人以上が集まりました。池田町のウォーキングは景観が素晴らしいこと、おもてなしが良いことが評判になり、年々参加者・リピーターも増えていきます。

今回も、自治会協議会、堀之内かかし村、ライオンズクラブ、神社・町内氏子、J A 大北農協、町職員、観光協会ガイドマスター会などの皆さんの連携により、良いおもてなしができました。この力を町づくりの他の分野にも広めていければと思います。



写真：雪形の北アルプスを眺めながらの昼食